

競争メーカーに対する 優位性確保!!

# 「競合他社に勝つ」ために必要な 開発設計段階の取り組み「設計力」 ～他社を凌ぐダントツ性能・ダントツコストを実現する実践的方法～

◆日時：2020年2月14日(金) 10:30～17:20 ◆受講料：(消費税等込) 1名:49,500円  
◆会場：連合会館 404号室 同一セミナー同一企業同時複数人数申込みの場合 1名:44,000円  
(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

競合他社を凌ぐ性能・コスト実現に向けての開発設計の取り組み方、  
目標達成のプロセス、開発段階の設計力、品質不具合を出さない取り組みについて  
実例を交えて具体的にわかりやすく解説する特別セミナー !!

## 【講師の言葉】

技術の急速な進化と普及は、モノづくりが新たな段階に入りつつあるように感じられます。とはいえ製造業の基本は競合メーカーに対し「優位性」を確保し、且つ、お客様の「信頼」を得続けることにあります。これは普遍的に取り組みねばならない課題であり、それに相応しい取り組みをせねばなりません。

一方、開発設計段階の取り組みが品質・コストの80%を決めるとの現実があります。この状況を踏まえ、本セミナーは「優位性」について、「競合メーカーへの優位性」確保するための開発設計のありようを取り上げます。具体的には、「競合を凌ぐダントツ性能」と「競合を凌ぐダントツコスト」実現への取り組みです。競合を凌ぐ性能・コストを実現した事例を紹介し、そこから導かれる、プロセス、競合を凌ぐダントツ目標の選定、その目標の満たすべき要件、その目標の達成を阻害する要因の打破などを取り上げます。更に、競合を凌ぐダントツ目標の取り組みは身近にあることの例、世界1製品の開発例、ダントツスピードの開発例など、様々な切り口の競合を凌ぐ豊富な事例を学ぶことができます。競合を凌ぐ取り組みに必要な設計者のありよう(あるべき姿)についても取り上げています。競合を凌ぐ設計力は「いかにあるべきか」、「何を取り上げるべきか」、「どのように取り組むべきか」を学ぶことが出来ます。

最後に、「信頼」を得続けるための開発設計のありようについても触れます。優位性の取り組みと対比することで、競合メーカーを凌ぐ取り組みのありようの理解を深めることが出来ます。

【受講対象】・製造業の開発設計、品質、生産技術、企画など、  
企画や研究開発業、その他競合に対する優位性を確保する取り組みに興味のある方  
・役職は、役員から初心者まで経験は問わない

【予備知識】特にございません。

【習得知識】・競合を凌ぐダントツ目標に必要な具体的な要件とその目標の設定方法を理解できます。  
・競合を凌ぐダントツ目標実現の詳細な開発設計プロセスを知ることができます。  
・競合を凌ぐ目標をやり抜く開発設計者に必要な技術知見・判断基準など7つの要素を理解し、  
実践で活かすことが出来ます。  
・競合を凌ぐダントツ目標実現のさまざまな実践事例を知ることができます。

## ◆セミナーお申込要領

### ●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

### ●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。振り込み手数料は御社の御負担にてお願いいたします。

### ●申込先



(株)TH企画セミナーセンター

〒108-0014 東京都港区芝5-30-1-210

TEL:03-6435-1138

FAX:03-6435-3685

E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0214 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>

セミナーご案内 関連部署へご回覧願います

## ◆プログラム◆

【講師】 (株)ワールドテック 代表取締役社長 寺倉 修 先生

(株)デンソーにて開発設計業務に従事、その後現在に至る

著書:「設計力」こそがダントツ製品を生み出す～やみくも先行開発を打破する7つの設計力～2018年 他

### 1. 競合を凌ぐダントツ製品とは

ダントツ製品の定義、及び先行開発段階と  
量産設計段階でそれぞれ設計力が存在することを解説

- (1) ダントツ製品とは  
-Q・C・Dの一つ以上がダントツであること
- (2) 先行開発と量産設計段階の関係  
-先行開発段階は、ダントツ目標値の設定と実現、  
量産設計段階は、ダントツ目標値品質120%達成の取組み  
-それぞれの段階に取り組みは、Wモデルで表現できる
- (3) 先行開発段階の活動  
-この段階ではさまざまなツールが使われる

### 2. ダントツ目標達成の取組みの流れ

ダントツ目標の設定とその実現方法について具体例を踏まえて解説

- (1) 新製品開発をスタートする環境をつくる
- (2) 新製品の選定のための基本方針を決める  
-既存製品の課題の分析を踏まえ、  
新製品選定の基本スタンスを明確にする
- (3) 新製品を具体的に選定する  
-取り組むシステム分野の絞り込みと製品の選定
- (4) 選定した製品をダントツにする方針を決める  
-Q・C・Dの何をダントツにするか根拠をしっかりと踏まえる
- (5) システムから要求される真のニーズを把握する  
-真のニーズとは、またその掘り起こし方とは
- (6) 真のニーズから得られたダントツ性能を実現する  
-ネック技術の見極めとそれを乗り越えるには
- (7) ダントツコストを見極め、実現する  
-スピードを意識した取組みとは

### 3. ダントツ目標の達成プロセス・満たすべき要件・阻害要因の打破

ダントツ目標達成のプロセスフローと得られた目標値の妥当性を判断する4要件、及び、目標値達成を阻害する要因を乗り越える取組みについて解説

- (1) ダントツ目標達成プロセス  
-達成プロセスは3つのグループからなる、基本プロセス、サポートプロセス、マネジメントプロセス
- (2) ダントツ目標が満たすべき4要件
  - ① 第一要件:目標項目の妥当性
  - ② 第二要件:目標値の対象システムでの妥当性
  - ③ 第三要件:システム動向との整合性
  - ④ 第四要件:成長タイミングとの整合性
- (3) ダントツ目標値の達成のための阻害要因の打破  
-阻害要因とは、及びそれを打破する具体的な取組み

### 4. 先行開発段階の7つの設計力

量産設計段階の設計力とは異なる、先行開発段階の7つの設計力を解説

- (1) 先行開発段階の7つの設計力要素
- (2) 先行開発段階の7つの設計力を構成するもの  
-量産設計段階とは異なる設計力が必要
- (3) 開発促進会議のありよう

### 5. ダントツ目標設定の取組み実践事例

-競合先を引き離す特性項目の絞り込みと目標値の設定、  
この活動をシステムからコンポーネントまで段階的な取組みを紹介  
市場動向調査/システム重点特性選定/システム特性値設定/  
コンポーネント選定/コンポーネント特性設定

### 6. 様々なダントツ製品を目指した取組み事例

- (1) ダントツ目標の取組みは身近にある  
-ダントツコスト1/2達成例
- (2) 世界一製品開発  
-他社の追従を許さない独自技術の開発で、世界一を達成した例
- (3) ダントツのスピード開発  
-ダントツのスピードでお客様に満足頂いた例
- (4) システムの変化点はダントツ新製品開発の機会

### 7. ダントツ目標設定に必要なロードマップ

ダントツ目標が満たすべき要件の見極めにはロードマップの活用が大切

- (1) ロードマップとは
- (2) ロードマップの整合性
- (3) ダントツ性能事例に当てはめると
- (4) 体制
- (5) パターン
- (6) ダントツコストの見極めもロードマップから

### 8. 他社を圧倒する製品を達成する設計者のありよう

- (1) 設計者のありよう-WAY
- (2) 世界一製品を目指した経験者の言葉

### 9. 100万個作っても1個たりとも品質不具合を出さない取組み

- (1) 品質不具合を出さない量産設計段階の7つの設計力
- (2) 量産設計プロセス
- (3) 図面に書かれたことは理論で説明、試験実験で検証されねばならない
- (4) 品質の99%は未だ五合目
- (5) 設計力と現場力の相乗効果

## ●申込書 ・2020年2月14日(金)「競合他社に勝つ」ために必要な開発設計段階の取り組み「設計力」

|            |   |        |
|------------|---|--------|
| 会社名        | 〒 | 住所     |
| TEL        |   | FAX    |
| 正式所属       |   | 正式所属   |
| 受講者名       |   | 受講者名   |
| E-mail     |   | E-mail |
| 振り込み<br>予定 |   | 通信欄    |